

保健体育科学習指導案

生徒 第3学年B組 男子18名 女子21名 計39名

指導者 教諭 朝倉 潤

I 単元 『E 球技:ゴール型 <バスケットボール>』

II 単元について

球技<ゴール型>では、「ボール操作」と「ボールを持たない時の動き」が重視されている。特にバスケットボールにおいては、攻撃側のボール操作技術がシュートの成功確率に大きな影響を与える。また、守備側としては、守るべきゴール近辺で相手にボールを持たせないようにすることが大切であると考えられる。攻撃側と守備側の両者においてシュートの成功率に大きな影響を与えるのが、ゴール近辺での場所の取り合いであると言える。その場所の取り合いにおいては、技能のみならず、戦術を立てる等の知識を用い学習が展開されるように指導を行わなければならないと考える。

III 生徒の実態について

この学級の生徒は、球技における運動技能のレベルは高くはないが、「作戦を立てる」というような学習活動には、意識高く臨む事ができる生徒である。本単元、ゴール型球技において3年生では、「作戦に応じたボール操作で仲間と連携してゲームが展開できるようにする」ことが学習のねらいとされているため、本時では、質の高い話し合いを展開させたいと考えている。

また、ICT機器を適切に用いるとこで、話し合いの質を効率良く高めさせたいと考えている。その点において本校生徒は、日常からタブレット型端末に触れており、その取り扱いには比較的慣れているため有効活用させたい。なお、バスケットボール経験者は、女子1名である。

IV 単元の指導目標

・生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 【運動についての思考・判断】	・球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にさせ、自己の責任を果たさせること、作戦などについての話し合いに貢献しようとさせることなどや、健康・安全を確保させ、学習に自主的に取り組んでいる。 【運動への関心・意欲・態度】
・球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身に付けている。 【運動の技能】	
・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。 【運動についての知識・理解】	

V 指導計画 (10時間扱い・・・本時8/10)

学習内容	指導内容	時間	<基礎的・汎用的な能力>との関連
球技の特性とルール	高度の技能の名称・行い方を理解させる。	1	【人間関係形成・社会形成能力】
少人数でのゲーム	安定した基本的技能を身に付けさせる。	3	【人間関係形成・社会形成能力】
特設ルールのゲーム	ボール保持者と非保持者の動きを理解させる。	3	
正規に近いゲーム	課題解決に有効な練習法や戦術を考えさせる。	3	【課題対応能力】
		本時(1/3)	【キャリアプランニング能力】

VI 学校研究との関連について

本校研究の重点の①「教科での基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習の工夫・開発および実践」に本時では重きを置き、授業を計画している。また、本校生徒がタブレット型端末の取り扱いに日常から慣れていることを利用し、運動観察の方法を理解させ、自己の課題に応じた運動の取組方を考えさせる上でICT機器を有効活用したいと考えている。

Ⅶ 本時案

1 題材 「球技<ゴール型>バスケットボール」

2 学習目標

- ・相手の守備戦術に応じた自チームの攻撃戦術を立て、その攻撃の分解練習方法を考えることができる。

【運動についての思考・判断】

3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合，整列，挨拶をする。 ○ 本時の目標を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標を理解させる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">相手の守備戦術に応じて自チームの攻撃戦術を立て、その攻撃の分解練習方法を考えよう</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「簡易ゲーム」・「ICT機器によるゲーム分析」を行う。 ○ ゲーム分析結果により，相手の守備戦術に対する自チームの攻撃面での課題を把握する。 ○ 課題を解決するための攻撃面での戦術を立て，その攻撃の分解練習方法を考える。 ○ 自チームの攻撃面での戦術とその攻撃の分解練習方法をワークシートに記入する。 ○ チーム練習を行う。 ○ 正規ルールに近いルールでのゲームを行う。 ○ 自チームの課題を解決するために立てた攻撃面での戦術及びその分解練習が有効であったかどうかをワークシートに記入させる。 ○ 整理運動を行う。 ○ 集合，整列，次時の学習内容を知る。 ○ 挨拶，後片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分析には，タブレットPCを用いる。 ○ 課題解決方法の検討には，「ゴール型球技の強化語彙」・「種目の特性の強化語彙」を提示する。 ○ ゲームと分解練習とのつながりを意識させる。 ○ 運動量ではなく，運動の質を大切にさせる。 ○ 攻撃面での戦術を意識したゲームを行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手チームの守備戦術は事前に指定する。 ○ タブレットPCによる「シュートチャート」に着目させる。 ○ ゲームにおける自チーム攻撃の仕方を振り返らせる。

4 評価

- (1) 自チームの課題を克服するために攻撃面での戦術を考えることができ、その戦術を表現するための有効な分解練習方法を考えている。